

# すぎふあみ 便り

杉並区教育委員会が発信する  
家庭教育情報。  
保護者が家庭や地域でより豊かに  
子育てするためのヒントをお伝えます。



## 今の多忙な親たちが、地域や学校との関わりを重荷に感じる理由とは？

私は、1960年代の大阪の団地における保育所増設運動の研究をしてきました。当時、共通の課題を抱える子育て当事者が、解決に向け活動することで地域や社会をより良くする主体となり、新たなコミュニティを作る過程をそこに見出しました。

比べて現代は、地域における「共同」が希薄になり、市場化もされています。価値観もライフスタイルも多様で、地域社会をともに形成すること自体が難しい上、就労で忙しい母親も増えています。

にもかかわらず、子育ての家族責任が強調され母親の責任負担を増し、かえって子育てを家庭内に封じ込める潮流もあります。付き合いが負担となる背景には、こうした要因があります。なのに、無目的に、一枚岩的に「集まろう」「PTAに参加しよう」と一方的に呼びかけても保護者が敬遠するも無理はありません。

本来、子育ても、それを営む家庭も、学校と地域を含む社会と関わり合いながら存在するものです。家庭が社会と絶縁した場所ではない以上、親が子どもとその育つ環境を完全にコントロールし、子どもの人生に対して親だけが責任をとることはできません。子どもをよりよく育てるためには、孤軍奮闘するのではなく、子どもが育つ社会環境をみんなでよくするほかないでしょう。



## PTAが敬遠される向きもある中で、保護者の交流が大事なのはなぜ？

私自身の二児の子育て経験にも由来します。子どもが生まれたころは妻がフルタイムで、非常勤職だった私が子育ての主担当になりました。保育園主催のバザーなどに参加し、保護者や保育園の先生と協力しながら、ともに子どもを育てる大切さを知ります。以後、より豊かな保育環境を求めて行政に働きかけるなど、暮らしの場である地域を自分たちでつくる活動の面白さに目覚めました。

### Profile



### 和田 悠 (わだ ゆう) さん

1976年生まれ。立教大学文学部教育学科教授。研究領域は社会教育、社会科教育で、専門は思想史。『私は赤ちゃん』（岩波新書）などの著書がある小児科医・松田道雄を研究。共著に『リアル世界をあきらめない～この社会は変わらないと思っているあなたに』（はるか書房）などがある。

## 保護者同士が よりよい関係をつくるには？

コロナを経て、保護者同士の交流の機会が減っています。なぜ今、保護者が地域や学校に関わるのが大変なのか、そもそも保護者同士の交流にはどのような意義があるのか、自らも保護者の立場で地域活動に携わり、市民教育を研究する和田悠さんに伺いました。

集うメンバーは多種多様で意見のぶつかり合いは日常茶飯事です。その面倒さを引き受けつつ、行政職員や立場の異なる相手とも対話を重ね、その地道な活動が子どもの笑顔を守る実感を得ます。次第に、子どもが育つ環境に主体的に働きかけることは、地域に生きる大人としての責任だと考えるようになりました。

とはいえ、毎回、まじめな話ばかりしていたのではありません。合間にとりよめない会話をしたり、お菓子を食べて情報交換したり。対等な立場で協働する仲間になるには、関係を深める交流が欠かせません。自らの子育てを顧みるにも、他の家族や親の子育て観に接して相対化することが不可欠です。それを支えるのが語り合える関係なのです。



## PTAに気負いなく参加するためのアイデアはありますか？

PTAでは一度委員を担ったものの、保育園の保護者会とは異なる雰囲気や圧迫感に圧倒され、コロナ禍の中でそれっきりとなりました。その反省を踏まえれば、PTAは多様なバックボーンを持つ人たちが任意でありながら「出会わされ」るのが実は重要で、地域活動との共通項ととらえ返せます。多少の摩擦は当たり前で、協働して乗り越えた先に親自身が育ち、結果的に子どもも共に育つ可能性を秘めているのではないのでしょうか。

気兼ねなく集まるには、事前にテーマを決めるのはどうでしょう。例えば「子どもが満足する授業とは？」と設定すれば、多くの保護者は関心を寄せるのでは。授業参観の後に会を設けると参加しやすく、内容もイメージしやすいです。保護者同士で出し合った意見は後日、担任の先生や学校と共有します。自分たちが学校づくりの主体である実感を得られると、参加する楽しみが増します。

「私」を語る場も重要だと考えています。子どものことだけではなく、自分がいま悩んでいることや考えていることなど、私事を話す場です。まずは少人数からのスタートでも、お互い対等な関係で気持ちよく活動していけば、仲間の輪はそのうち広がるはずですよ。

申し込みフォームから  
お申込みください

### 家庭教育講座の窓から

## 家庭教育講座（教育委員会共催）のご案内

- 日時：令和6年3月26日（火） 午後1:00～
- 内容：[1部] 午後1:00～2:30 映画『夢見る小学校』上映会  
[2部] 午後2:45～3:45 桜井智恵子さん講演会
- 会場：中瀬中学校 体育館 ■主催：中瀬中学校 PTA
- お問合わせ：nakasepta2023@gmail.com（中瀬中学校 PTA）



### <令和5年度の家庭教育講座>

教育委員会が主催する講座のほかに7団体が不登校、思春期、食事など様々なテーマで子育ての悩みのヒントになる講座を教育委員会と共催で開催し、多くの方が学び合いました。

■講座の企画や相談、開催予定などは、杉並区教育委員会事務局 学校支援課 家庭・地域教育担当まで  
【お問合わせ】電話：03-5307-0759（直通） ☒ gakkou-sien@city.suginami.lg.jp